



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 アイティメディア株式会社
 コード番号 2148 URL <http://corp.itmedia.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大槻 利樹
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部長 (氏名) 加賀谷 昭大 (TEL) 03-6824-9396
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	640	3.7	31	207.5	32	187.5	10	17.8
26年3月期第1四半期	617	7.6	10	—	11	—	8	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3百万円(△45.2%) 26年3月期第1四半期 7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.61	1.60
26年3月期第1四半期	1.38	1.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,160	3,895	93.0
26年3月期	4,266	3,917	91.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,870百万円 26年3月期 3,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,350	1.8	90	5.0	92	4.7	60	8.4	9.46
通期	3,000	3.8	380	16.5	385	16.3	240	18.7	37.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想における1株当たり当期純利益の計算は、平成26年3月31日現在の発行済株式数から自己株式数を控除した株式数を使用しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期10	6,442,100株	26年3月期	6,442,100株
② 期末自己株式数	27年3月期10	100,497株	26年3月期	100,497株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期10	6,341,603株	26年3月期10	6,278,803株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

※四半期決算の補足説明資料「平成27年3月期 第1四半期決算説明資料」及び決算説明映像を
当社ホームページに掲載する予定です。

(当社ホームページ)

<http://corp.itmedia.co.jp/ir/>

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

・当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げの影響を受けつつも、政府による経済政策への期待を受けた円安や株高の基調が維持されたことで、企業業績を中心に景気回復への期待が継続しました。先行きについては、新興国の成長鈍化、ウクライナやイラクにおける紛争の影響が注視されるなど、依然として不透明な要素をはらんでいます。世界経済の緩やかな回復に伴って、わが国においても回復基調が続くものと思われま

す。当社グループの主要顧客であるIT&ビジネス分野では、国内IT投資が堅調に推移し、広告出稿意欲の回復基調が継続しております。産業テクノロジー分野では、電子部品需要が世界的に回復傾向にあることに加え、円安により自動車関連業を中心とした輸出企業において業績が改善し、広告出稿意欲が高まっています。コンシューマー分野では、消費税率の引き上げやWindows XPサポート終了に伴う駆け込み消費の反動もあり、広告宣伝費が抑制されました。

こうした状況下におきまして、当社グループでは、産業テクノロジー分野を中心とした新規成長領域での営業を強化するとともに、費用対効果の高い広告商品の需要増加に合わせ、プロフィール（営業見込み客情報）を提供するターゲティング型商品を積極的に販売し、増収しました。また、ネット上の話題/ニュースを提供する「ねとらぼ」はスマートデバイスを中心に大きくアクセス数を増やし、その結果、スマートデバイス向けの広告販売も増加しました。一方で、新規事業であるユーザー参加型のWebサービス「ONETOPI」は、アクセス数が計画から大きくかい離する状況が続いており、運営を続けることで将来の業績に影響を及ぼす懸念が生じたため、サービスの終了を決定し、特別損失が発生いたしました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は6億40百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は31百万円（同207.5%増）、経常利益は32百万円（同187.5%増）及び四半期純利益は10百万円（同17.8%増）となりました。

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。なお、メディア分野別の当第1四半期連結累計期間の業績概要は以下のとおりであります。

(メディア分野別の概要)

(単位：百万円)

	IT&ビジネス分野	産業テクノロジー分野	コンシューマー分野	その他	メディア事業合計
売上高	419	90	110	20	640
営業利益又は営業損失(△)	67	2	△9	△28	31

(IT&ビジネス分野)

IT&ビジネス分野におきましては、膨大なデータをビジネスに活用するビッグデータ関連製品や企業での導入が進むクラウド関連製品などに注目が集まりました。また、費用対効果の高い広告手法の需要増加に合わせ、プロフィール（営業見込み客情報）を提供するターゲティング型商品を積極的に販売し、当分野の増収を牽引しました。競合他社に対し、同商品が当社の大きな強みとなっています。以上の結果、IT&ビジネス分野では前年同四半期連結累計期間より増収増益し、売上高は4億19百万円、営業利益67百万円となりました。

(産業テクノロジー分野)

産業テクノロジー分野におきましては、メディア領域を拡大したことにより、メディア力が順調に伸張り認知度が向上しました。また、顧客である製造関連企業のオンラインマーケティング活用が進んでいることに加え、円安により一部企業の業績が上向き、広告出稿意欲が回復したため、売上が拡大しました。特に、ディスプレイ型商品に加えて、費用対効果の高いターゲティング型商品の需要が増加しております。以上の結果、産業テクノロジー分野では前年同四半期連結累計期間より増収増益し、売上高は90百万円、営業利益2百万円となりました。継続的な事業成長の結果、定常的な黒字運

営が実現しつつあります。

(コンシューマー分野)

コンシューマー分野におきましては、消費税率の引き上げやWindows XPサポート終了に伴う駆け込み消費の反動もあり、一部顧客において広告宣伝費の抑制がありました。デジタルガジェット関連のメディアについては苦戦をしておりますが、ねとらぼについてはPV、売上ともに成長を続けております。以上の結果、コンシューマー分野の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億10百万円、営業損失9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は41億60百万円（前連結会計年度比1億5百万円減）となりました。主な増減の内訳は、現金及び預金の増加1億59百万円、受取手形及び売掛金の減少1億57百万円及び有価証券の減少1億円であります。

負債合計は2億65百万円（同83百万円減）となりました。主な増減の内訳は、賞与引当金の減少62百万円及び未払法人税等の減少33百万円であります。

純資産合計は38億95百万円（同22百万円減）となりました。主な増減の内訳は、四半期純利益の計上による増加10百万円及び剰余金の配当による減少25百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より1億59百万円増加し、21億27百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は96百万円となり、前年同四半期と比べ41百万円増加いたしました。主な内訳は、賞与引当金の減少によるキャッシュ・フローの減少62百万円、売上債権の減少によるキャッシュ・フローの増加1億57百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果、増加した資金は87百万円となり、前年同四半期と比べ1億1百万円増加いたしました。主な内訳は、投資有価証券の償還による収入1億円あります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は24百万円となり、前年同四半期と比べ24百万円減少いたしました。主な内訳は、配当金の支払額23百万円あります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、計画通り推移しており、平成26年4月25日に公表いたしました平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,867,553	2,027,500
受取手形及び売掛金	557,974	400,800
有価証券	800,340	699,990
仕掛品	2,737	4,118
その他	155,326	181,637
貸倒引当金	△4,622	△4,617
流動資産合計	3,379,309	3,309,430
固定資産		
有形固定資産	100,054	94,678
無形固定資産	142,881	117,504
投資その他の資産		
投資有価証券	558,137	551,373
その他	86,353	88,005
投資その他の資産合計	644,490	639,378
固定資産合計	887,426	851,561
資産合計	4,266,736	4,160,992
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,963	41,499
未払法人税等	37,025	3,490
賞与引当金	111,913	49,087
その他	121,727	142,588
流動負債合計	319,630	236,665
固定負債		
リース債務	6,579	5,760
資産除去債務	23,086	23,160
固定負債合計	29,665	28,921
負債合計	349,296	265,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,638,564	1,638,564
資本剰余金	1,682,232	1,682,232
利益剰余金	673,865	658,724
自己株式	△44,435	△44,435
株主資本合計	3,950,226	3,935,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△57,836	△64,727
その他の包括利益累計額合計	△57,836	△64,727
新株予約権	25,049	25,047
純資産合計	3,917,439	3,895,405
負債純資産合計	4,266,736	4,160,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	617,285	640,360
売上原価	264,780	268,299
売上総利益	352,505	372,061
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	134,110	130,532
賞与引当金繰入額	30,821	27,472
その他	177,246	182,300
販売費及び一般管理費合計	342,179	340,304
営業利益	10,326	31,756
営業外収益		
受取利息	1,430	1,488
その他	46	1
営業外収益合計	1,476	1,489
営業外費用		
支払利息	45	34
為替差損	485	804
営業外費用合計	531	838
経常利益	11,271	32,407
特別損失		
減損損失	—	18,852
事業撤退損	—	3,231
特別損失合計	—	22,083
税金等調整前四半期純利益	11,271	10,324
法人税、住民税及び事業税	590	△900
法人税等調整額	2,000	1,000
法人税等合計	2,590	99
少数株主損益調整前四半期純利益	8,681	10,224
四半期純利益	8,681	10,224

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,681	10,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,306	△6,890
その他の包括利益合計	△1,306	△6,890
四半期包括利益	7,374	3,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,374	3,333
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,271	10,324
減価償却費	20,097	18,468
のれん償却額	1,150	1,150
賞与引当金の増減額(△は減少)	△60,263	△62,826
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△5
受取利息及び受取配当金	△1,430	△1,488
支払利息	45	34
減損損失	—	18,852
事業撤退損	—	3,231
売上債権の増減額(△は増加)	93,869	157,173
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,127	△1,380
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,268	△7,463
その他	△5,630	△10,103
小計	55,682	125,966
利息及び配当金の受取額	2,495	2,299
利息の支払額	△45	△34
法人税等の支払額	△2,610	△31,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,521	96,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△4,086	△822
無形固定資産の取得による支出	△9,613	△9,030
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
差入保証金の差入による支出	—	△2,443
その他	—	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,699	87,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△795	△806
新株予約権の発行による収入	1,128	—
配当金の支払額	—	△23,583
財務活動によるキャッシュ・フロー	333	△24,390
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	42,154	159,947
現金及び現金同等物の期首残高	1,817,906	1,967,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,860,061	2,127,500

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。